



THE 5th CODE BLUE SEMINAR *REPORT*

コード・ブルー（子ども医療体験）セミナーレポート 2026



今回のコード・ブルーセミナー統括を務めました大森です。今年も『コード・ブルーセミナー』を開催することができました！毎年多くの反響をいただいている大人気コンテンツで、今年は約300人の参加希望者の中から、特に“熱い”参加希望コメントをいただいた子どもたちに集まってもらいました。真剣な眼差しで学び、一つでも多くのことを吸収しようとする子どもたちの姿はとても印象的で、私たちスタッフも多くの刺激をいただきました。これからも「参加してよかった」と感じていただけるコンテンツを目指して、より充実した内容をお届けしていきます。次回のコード・ブルーセミナーも期待して待っててください。

大森 救急診療科医師

ジェイズ
J's

臨時号

2026年8月

THE 5th CODE BLUE SEMINAR *REPORT*

未来の命を救う力にふれる一日

2026年5月30日(土)に開催したコード・ブルーセミナーの様子をレポートいたします。

今回のセミナーは、地域の子どもたちに当院や医療に対する興味・関心を持ってもらおうと準備を進めてきた企画です。当日は300名以上の応募者から抽選で選ばれた36名の小中学生が参加し、実際の現場で使用する医療器材を用いた各種医療体験を通じ、救急医療に携わる医師・看護師・スタッフと交流をしていただきました。

医療の現場がはじめてとあって、子どもたちの新鮮な驚きやイキイキとした表情が印象に残りました。



Report 01 ドクターヘリポート見学

関係者以外は立ち入ることができないヘリポートで、大迫力のドクターヘリを間近で見学。機内には命を守るための機械や薬がたくさん!年間1,000件以上も出動していると聞いて更に驚きました。ヘリに乗ってヘッドセットも着用し、フライトドクターになった気分を楽しみました。



Report 02 エコー(超音波検査)体験

エコーを使って体の中を見てみると、肝臓や血管が動いている様子に驚きと発見が!自分の体の内部を画像で見る貴重な体験となりました。



Report 03 ギプス固定体験

水にぬらすと固まる不思議な素材を使って腕を固定しました。友だち同士で見せ合ったり、包帯の巻き方を教わったりしながら、けがの治療について楽しく学べました。



Report 04 AED(自動体外式除細動器)体験

講習会等で使用されるデモ機と人形を使って心肺蘇生やAEDの操作にチャレンジ!看護師さんに教わりながら、命を守るための大切な知識を学びました。



Report 05 手術縫合体験

本物の手術室でドキドキの手術体験!手術着に着替えてから練習用パッドを使って執刀に挑戦、そして縫合の糸結びまで、みんな真剣な表情取り組んでいました。



すご楽しかったし、ギブスや人工皮膚も記念と言って持ち帰らせてくれました。また、AED体験は日常でも役立つので良かったです。

小学5年生(男)

ひとつひとつ丁寧に教えてくださって、分からないときにすぐかけつけてくれて正直うれしかったです。またこれといった心から感じました。内容も指導もとても良かったし、楽しくできました!!

小学6年生(女)

コード・ブルーセミナー を振り返って



病院の仕事などについてくわしく知ることができてよかった。ドクターヘリや手術室など普段見えなかったり、入れないところにいけて、すごく勉強になって楽しかった。

中学3年生(男)

いつもは検査される側だけど、検査する側になって少しの間だけお医者さんになった気持ちになりました。

中学2年生(女)



INTERVIEW



参加者 小学6年 てっぺいさん

縫合体験とドクターヘリの至近距離での見学が一番楽しかったです。縫合は普段できないことだし、「どうやってやるのかな」と体験する前からワクワクしていました。自分で縫合したものを持ち帰ることができたのも嬉しかったです。以前から医療関係に関心があったので、今日はいろいろな体験を通して、医療への興味が深まりました。



参加者 中学3年 ここなさん

医療分野に興味があり、消化器内科医の父の勧めで応募しました。教科書だけでは分からない病院の仕事を見学・体験できて良かったです。なかでも手術室の中の見学は初めてだったので、とても楽しかったです。縫合体験は難しそうなイメージがありましたが、やってみると意外とコツをつかめました。将来は医療分野で働き、多くの人を救いたいです。



中島 救急診療科医師

子どもたち一人ひとりがキラキラした目で積極的に参加している姿に、私たちもたくさん元気もらいました。「将来フライトドクターになりたいから待ってね!」といううれしい言葉もいただき、日々の診療により一層気が引き締まる思いです。保護者の皆さまにも楽しんでいただき、医療や救急医療に少しでも興味を持っていただくきっかけになれば幸いです。



川久 臨床検査技師

実際に自分や保護者の方の腕や首に超音波検査機器を当てることで、私たちが普段どのような検査を行っているのか知っていただければと思いました。参加者の皆さんは積極的に取り組んでくださり、画像がきれいに映し出された際には大きな反応が見られ、私も楽しく説明や指導を行うことができ、大変有意義な時間となりました。今回の体験が臨床検査技師という職業を知り、興味を持っていただくきっかけとなれば幸いです。



順天堂大学 医学部 附属 静岡病院
JUNTENDO UNIVERSITY SHIZUOKA HOSPITAL

〒410-2295 静岡県伊豆の国市長岡1129番地
TEL:055-948-3111(代表)